

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成28年 3月28日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ カシワガクホウサシツコウインカイ
 団体名 開成学区防災実行委員会
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ カシワラアヤオ
 代表者氏名 梶原 綾雄 [Redacted]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) 1. 防犯分野 ②. 防災分野 3. 環境分野 4. 地域保健福祉分野 5. 健康づくり分野 6. 地域資源を活かした分野
事業名	開成防災実行委員会
事業実施場所	開成小学校 (体育館、グラウンド) <開成学区町内避難集合場所> 穂香の里 (玄関ホール、庭) <市指定 津波避難ヶ所 (企業)>
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> * 防災関係のアンケート (開成全戸対象回収率=88%) * 防災学校受講 (危機管理室主催) * 6月15日 阿倍野防災センター研修会 (参加者=38名) * 9月27日 開成小学校 (グラウンド) 体協主催の体育大会と共催で防災イベント <非常食を考える> (競技:簡易タンカづくり、非常食づくり、○×クイズ) * 11月15日 津波避難訓練 (参加者=723名) <避難者の誘導策> 開成小学校で岡山市の防災対策、振り込み詐欺の講演 (参加者=551名) 各町内別避難訓練、町内別炊き出し訓練、防災時の指導教育等 * 各町内別に自主防災組織で防災訓練実施5町内 (開成=22防災組織) * 12月1日 穂香の里 (参加者100名 女性、高齢者が主体) 地域サロン (九幡地区、豊田地区、金田地区、政田地区合同) イベント:応用した簡易タンカづくり、緊急時の応急手当 (阿倍野防災応用) 講演、講和: 可知消防所、警察署、社会福祉事務所、

事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1、防災意識や減災意識のレベル向上 2、学区民と地域企業との意志疎通 3、学区民の連帯感向上及び共助精神の浸透 4、避難訓練のふれあいにより地区民間の絆が向上した。
企画などの工夫	<p>安全・安心ネットワーク内の各種団体組織との連携を密にして、各行事の企画の段階から協議して、イベント開催の援助などをするとともに、防災関係のPR。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震、津波災害アンケートして実施（開成全戸対象） ・可知消防所の協議、打ち合わせ ・岡山市危機管理室要請、 ・岡山市東区警察所要請 ・公民館（市民のひろば誌）地域サロン会と提携 ・安全ネット（愛育委員、民生委員、消防団）の協力要請 ・単位町内会会長、自主防災組織活動
事業の情報公開	<ol style="list-style-type: none"> 1、開成学区連合町内会⇒単位町内会より学区民に回覧する。 2、安全・安心ネットワークより単位町内部長へPRする。 3、九幡工業団地、会長連絡し企業に公開した。 4、公民館だより誌よりPR 5、インターネット、つながる協働ひろばに記載
その他（感想・改善点など）	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所が（学校、公民館、コミュニティ） <市指定避難カ所が耐震か設備でないのが大きな問題です> ・26年津波避難指定箇所の確認 避難経路、時間、誘導方法等の確認 ・避難訓練の反省で現状にあった避難訓練が必要 28年行事で取り込む計画する（単位町内別に避難場所に避難する） ・減災意識が高い（〇×クイズ参加者500名）次回はレベル向上をする。 ・女性、高齢者の災害への関心が高い、平日の開催に参加者100名の参加あった。 <p>*感想 開成学区防災訓練実施を26年度=560名、27年度=723名の参加者できた。 28年度も実施していく、また自主防災組織の活動に努力していきたい</p>

■収 支 決 算 書

◆収 入

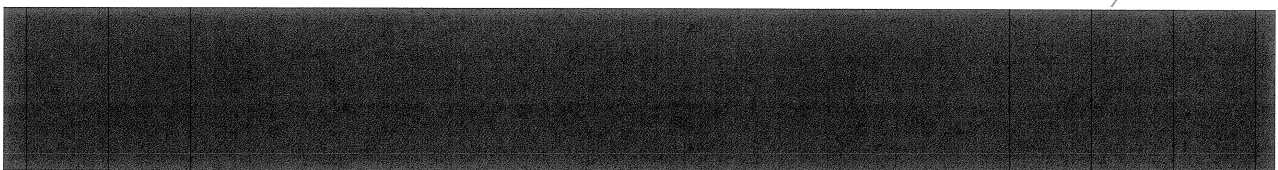
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	1,000,000	898,700	
準備金	749,000	663,780	
町内会費	93,000	93,000	
開成振興事業	100,000	100,000	
寄付金	58,000	92,000	
計	2,000,000	1,847,480	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	1,400,000	補正対象 539,337 ✓ 1,220,923	事務用品、非常持出し袋
食糧費	150,000	補正対象 209,168 208,007	会議、訓練時飲料
印刷製本費	40,000	9,136 ✓	印刷代
通信運搬費	10,000	10,850 ✓	郵送料
水燃料費	10,000	0 ✓	
保険料	10,000	4,200 ✓	
原材料費	100,000	62419 ✓	おにぎり米、豚汁材料
委託料	100,000	79,800 ✓	
教育費	150,000	24,0060 ✓	防災センター研修
旅費交通費	300,000	5,000 ✓	
報償費	0	4925 ✓	お礼
手数料	0	2,160 ✓	振込手数料
計	2,000,000	1,847,480 補正対象 1165,055 ✓	



開成防災参加者

2015,10.30

九番地区

町内会名	町内会 戸数	非常食	避難箇所			小学校 参加者
			参加戸	参加者	避難場所	
上九番	41	アルファ米	28	32	トーカイ	32
二丁目	41	非常食作り	18	24	小学校	22
舟入	24	非常食作り	17	27	セキスイ	47
港町	22	非常食作り	14	20	セキスイ	
戌中	27	個人で	21	21	小学校	21
東中用水	42	非常食作り	29	44	セキスイ	10
八番	60	非常食作り	45	68	小学校	60
水門	12	個人で	9	10	富士	10
三和町	53	非常食作り	23	35	土質工学	27
栄町	52	個人で	23	35	土質工学	16
吉屋町	41	個人で	18	27	小学校	26
戎町	46	個人で	6	8	土質工学	8
小計	461		251	352		299

金田地区

川北	30	個人で	20	30	小学校	30
八軒屋	46	個人で	30	30	小学校	8
塩浜	34	個人で	20	34	小学校	7
上南	135	非常食作り	77	120	小学校	121
宮町	36	個人で	16	19	小学校	16
宮西	31	非常食作り	21	21	中学校	7
三軒屋	15	個人で	5	10	小学校	2
開	20	個人で	10	10	小学校	4
神崎屋	39	検討中	26	37	小学校	37
下東	53	非常食作り	29	40	小学校	40
六軒屋	27	非常食作り	6	8	小学校	8
小計	466		260	359		280

工業団地

徳山電気	10		0	0		0
オカネツ	10		9	9	富士	9
穂香の里			3	3	土質工学	2
関係者 (民生、消防、役員、公民館、交番、支所)						25
小計	20		12	12		36
合計	947		523(55.2%)	723		615

事業実施経過

年 月 日	内 容
平成27年4月19日	自主防災組織、八番・水門町避難訓練実施
7月 4日	岡山市指定津波避難個所、富士工業所に108名避難訓練をした 大阪市阿倍野防災センター・淡路震災展示館に研修会 自主防災会長・町内役員中心に38名参加
8月	6月～防災関係による開成全戸アンケートを実施(回収率=88%) 結果 巨大地震、津波が発生する確率(83%) 非常持ち出し袋準備している戸(24%) 非常持ち出し袋が必要である戸 (85%)
8月30日	自主防災組織塩浜町内避難訓練実施
9月 6日	自主防災組織上南町内避難訓練実施
10月 5日	自主防災組織吉屋町内避難訓練実施
9月27日	開成学区運動会(防災事業関係イベント) 1、非常食づくり(ビニール袋にコメを入れて炊く、試食会) 2、簡易タンカづくり(緊急移送訓練) 3、防災関係の意識向上による〇×クイズ 4、
11月15日	防災避難訓練 自主防災組織による避難訓練 開成小学校で岡山市危機管理室講演
12月 1日	穂香の里で減災防災イベント 水害・液状化の対策について講話 1、新聞紙で応急手当体験 2、消防団指導で簡易タンカづくりの応用づくり指導 3、サロン指導で豚汁配給体験